



AFRICAN DEVELOPMENT BANK GROUP



アフリカ開発銀行 —アフリカの動向ならびに今後の取り組み—



沼澤 和宏 /Kazuhiro Numasawa
金融セクター開発局/Financial Sector Development Department, AfDB

February 2016

本日のアウトライン



1. **アフリカ開発銀行の概要**
2. **アフリカの経済、投資、人口動向**
3. **アフリカ開発銀行の長期戦略と(新)重点分野**
4. **アフリカ開発銀行における民間向け融資・投資**
5. **再生可能エネルギーならびに省エネ分野**



AFRICAN DEVELOPMENT
BANK GROUP

アフリカ開発銀行の概要



アフリカ開発銀行グループ(AfDB)



設立 1964年

本部 アビジャン



本部

ミッション

アフリカ開発銀行の域内加盟国の持続可能な開発及び社会的進歩に寄与すること

AfDBとAfDF—2つの相互に独立した主要事業体



アフリカ開発銀行 (AfDB)

アフリカ諸国への融資 (ソブリン事業)

一人あたりの総所得、国の信用度が比較的高い中所得国への融資

民間セクターの業務

開発効果が高く、持続可能な企業、事業体、プロジェクトなどに対する政府保証を求めない投融資 (ローン、劣後ローン、クレジットライン、保証、出資 / エクイティ / メザニンなど)



アフリカ開発基金 (AfDF)

- 1972年設立
- ソフトローン・グラント専門の事業体
- 主にドナー国からの拠出金 (寄付金) で資金を調達
- 最貧国向け開発プロジェクトに対する譲許的資金および助成金を提供することで AfDB の取り組みを補完
- プロジェクト向けのソフトローンは無金利、融資期間最長50年 (うち据置期間最長10年)

各国事務所＋域外事務所



本部 アビジャン
各国事務所 30

ケニア(ナイロビ)、チュニジア(チュニス)、南ア(プレトリア)は地域支援センター

アジア代表事務所
2012年10月15日
正式オープン

アジア加盟国(日本、中国、韓国、インド)とのパートナーシップの推進など

これまでの投資実績

アフリカ開発銀行は2005－2014年の間に約3兆円のインフラ投資を実施。(政府向けおよび民間向けを合計した数字)その内エネルギーと交通セクターが大部分を占める。

Between 2005-2014: USD 28 billion in infrastructure approvals

Between 1964-2004: USD 18 billion in infrastructure approvals

Energy



USD 11.0 billion

Transport



USD 11.2 billion

Water & Sanitation

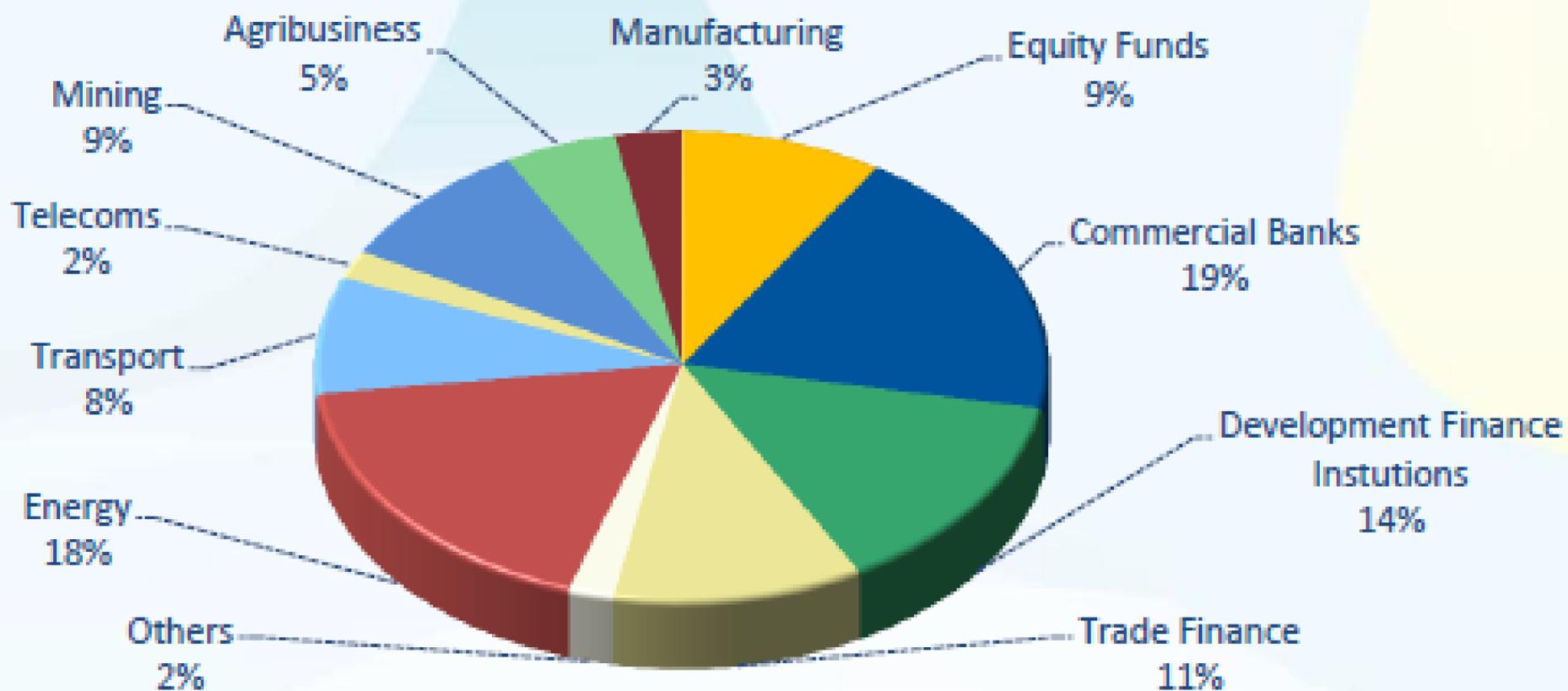


USD 4.2 billion

ICT



USD 1.6 billion



As of 31 December 2014

右記)ノン・ソブリン (民間セクター向けのみのセクター別内訳)

これまでの再生可能エネルギープロジェクト（例）



- 水力発電や太陽光発電の複数プロジェクトに対して長期融資を実施
- 国名：ケニア、タンザニア、ナイジェリア、南アフリカなど
- 融資額：100 百万ー300百万ドル（約110億～330億円）
- AfDB 役割：
 - シニアローン
 - アドバイザリー

アフリカ開発銀行のバランスシート



全体の資産規模や約3兆8千億円。そのうち貸出／ローンが約2兆円さらにプライベートエクイティなどへの出資が約1000億円。(2015年6月時点)

(in USD million)	2010	2011	2012	2013	2014	30 June 2015**
Assets	29,483	31,107	32,605	32,335	33,251	34,214
Loans	12,596	14,210	16,928	17,842	18,324	17,917
Investments	11,448	11,653	9,971	9,372	10,637	11,307
Borrowings	18,450	19,810	20,408	19,939	20,828	21,738
Equity	7,423	7,494	8,207	8,980	8,809	8,822
Paid-in Capital net of CEAS*	3,377	3,601	4,108	4,581	4,730	4,863
Reserves	4,046	3,894	4,100	4,400	4,079	3,959
Income before distributions	329	253	301	278	220	162
Subscribed Capital	33,600	57,300	100,230	100,424	94,366	92,009

** 2015年6月は会計監査前の数値

本日のアウトライン



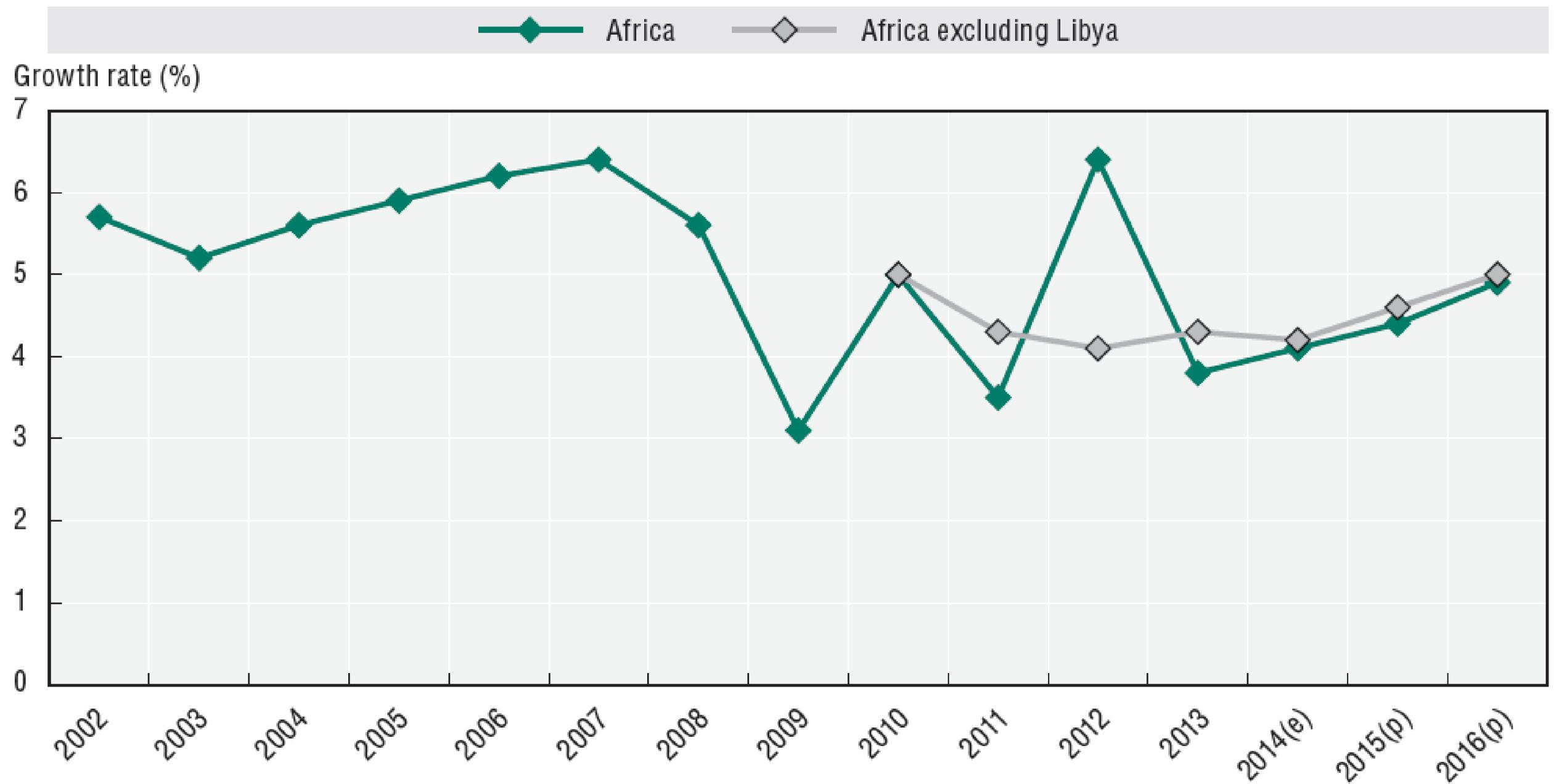
1. アフリカ開発銀行の概要
- 2. アフリカの経済、投資、人口動向**
3. アフリカ開発銀行の長期戦略と(新)重点分野
4. アフリカ開発銀行における民間向け融資・投資
5. 再生可能エネルギーならびに省エネ分野

アフリカのマーケット動向（経済成長）



過去10年以上に渡りアフリカは経済成長を継続してきている。今後もGDP成長率4－5%程度の成長を実現する可能性は高い。

Figure 1. Africa's economic growth, 2002-16



Note: (e) estimates; (p) projections.

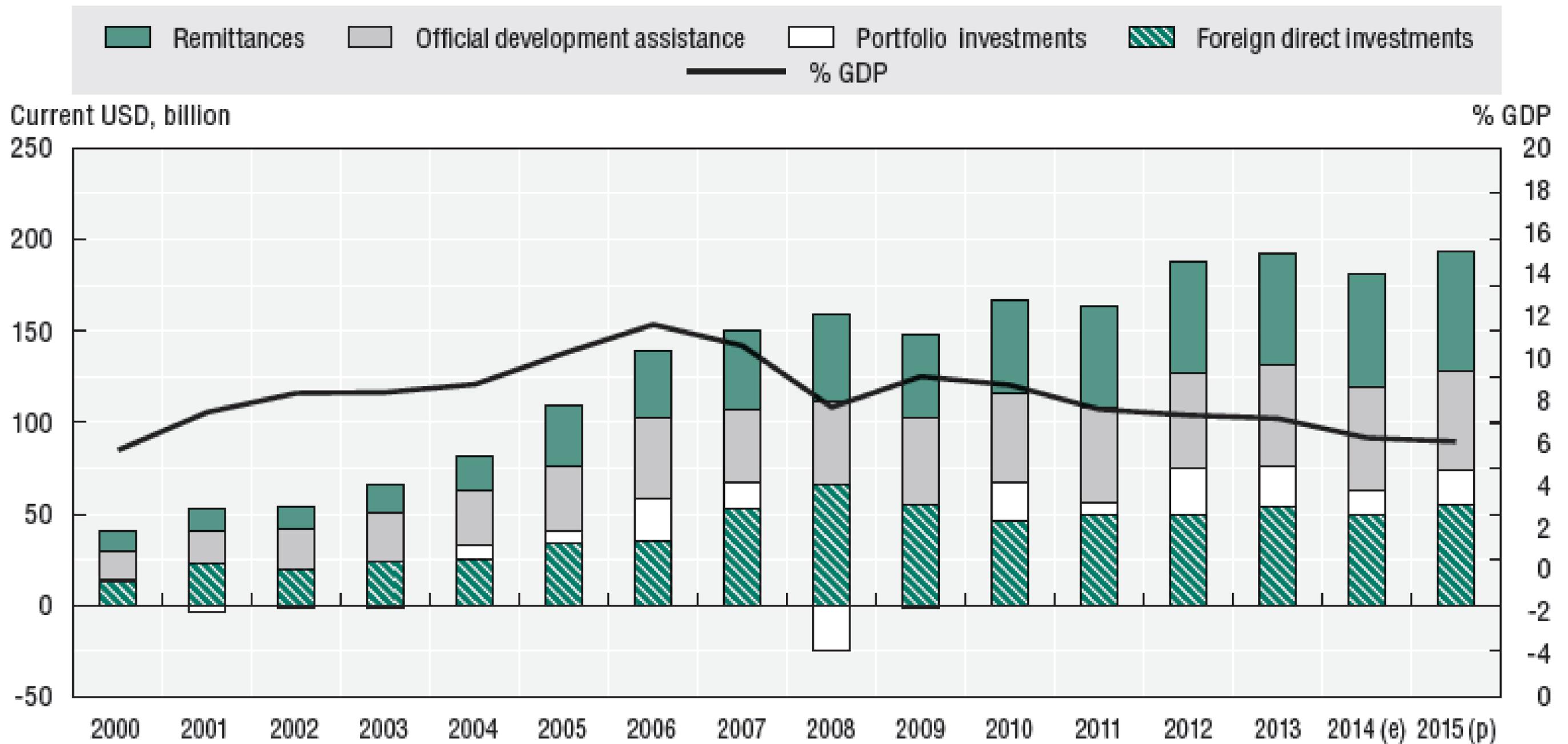
Source: Statistics Department, African Development Bank.

アフリカのマーケット動向（資金流入の推移）



アフリカ向けの資金流入規模は順調に増加してきており、年間約20兆円規模に。対外直接投資は約5－6兆円／年の規模に達してきている。

Figure 2. External financial flows to Africa, 2000-15

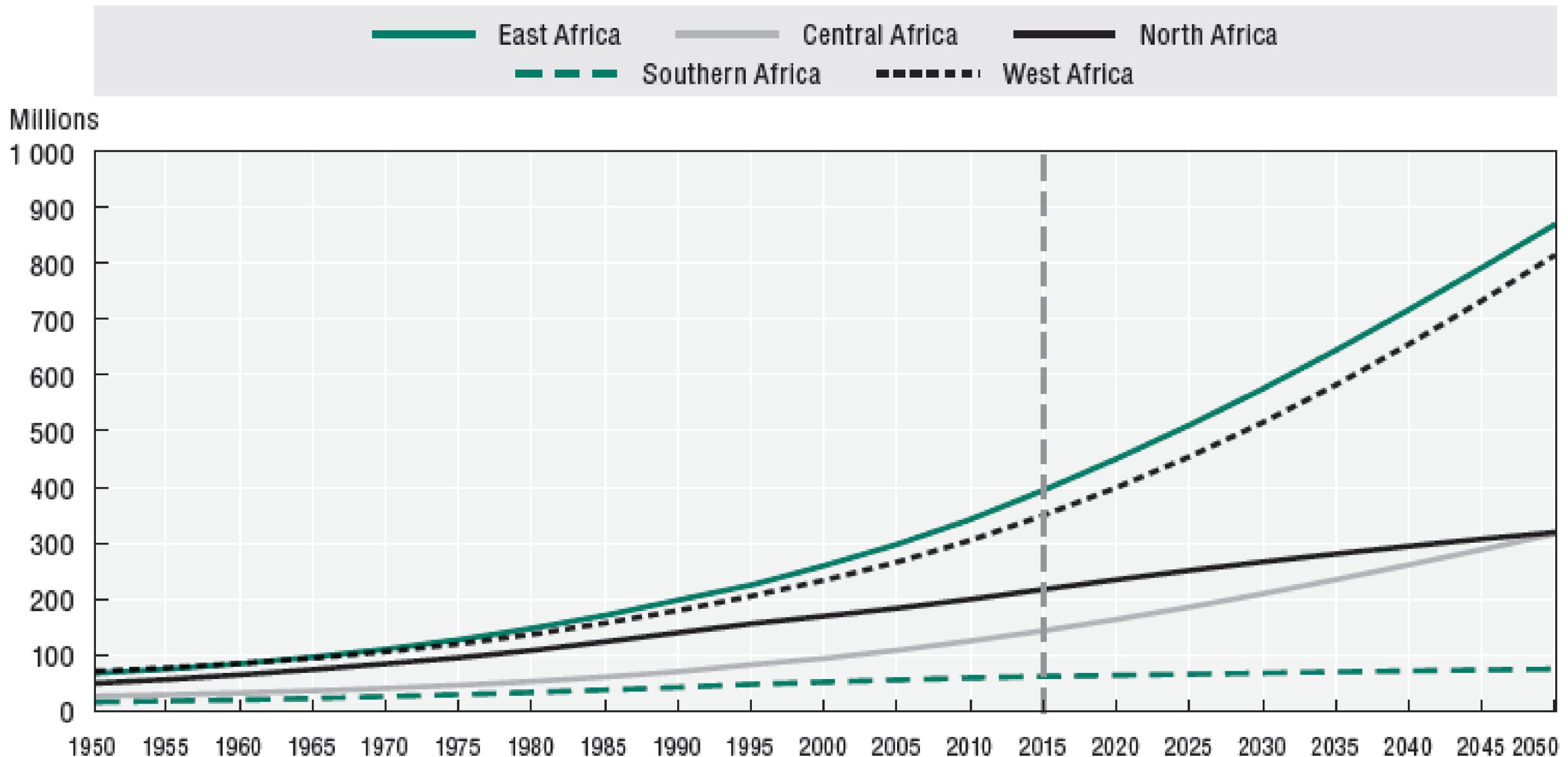


アフリカのマーケット動向（今後の人口動向）



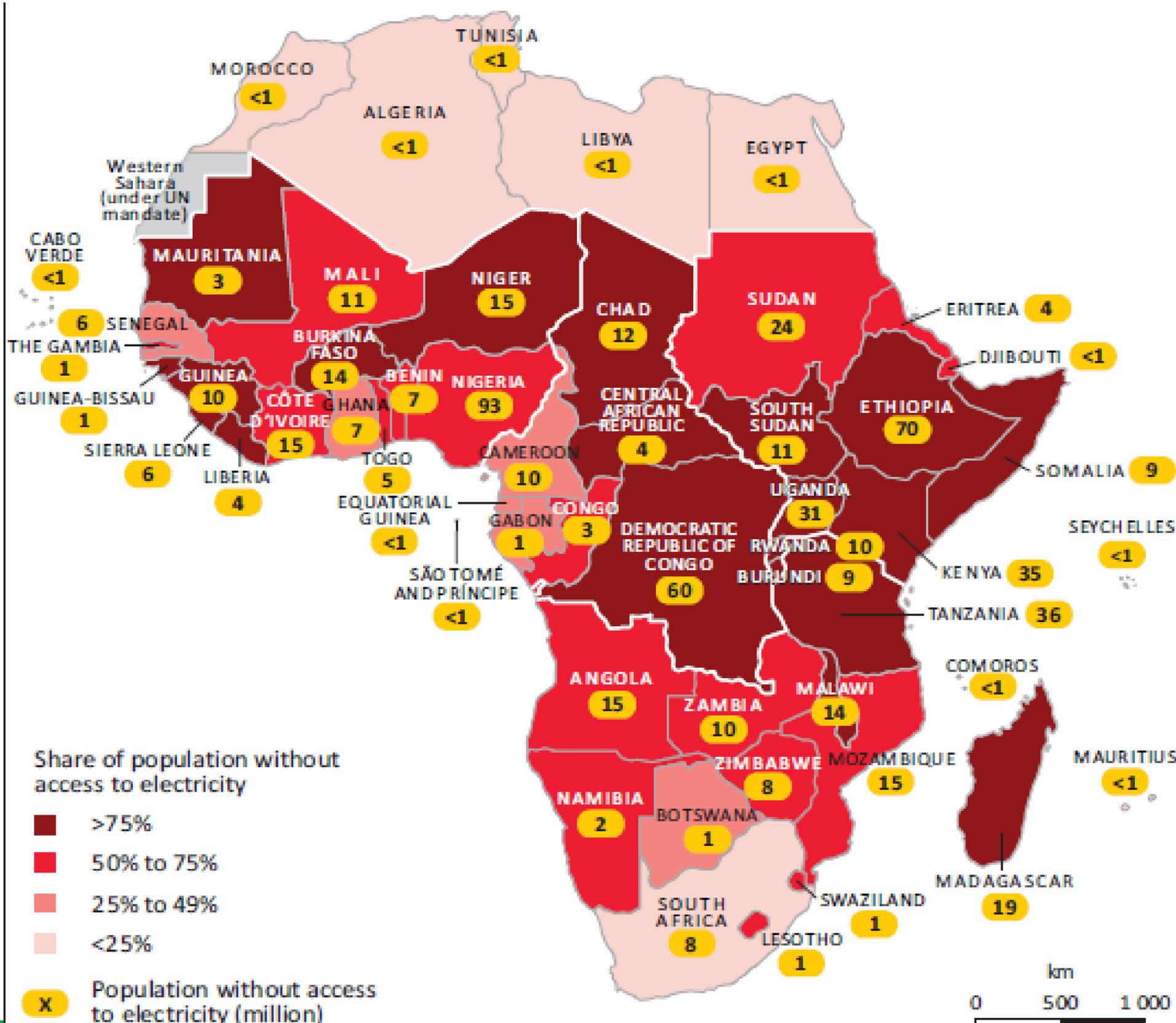
現在約10億人であるが、2030年までに15.6億人、2050年には21億人に達すると予測されている。特に東アフリカと西アフリカでの増加が顕著。

Figure 6. Population growth in Africa, 1950-2050



アフリカの電力アクセス

アフリカの多くの国では未だに無電化の地域が多く電力化率も非常に低い国が多い。



電気へのアクセスがない人口

- ケニア(3500万人)
- エチオピア(7000万人)
- タンザニア(3600万人)
- ナイジェリア(9300万人)

等

アフリカ全体で約6億人

IAEA資料より抜粋

本日のアウトライン



1. アフリカ開発銀行の概要
2. アフリカの経済、投資、人口動向
- 3. アフリカ開発銀行の長期戦略と(新)重点分野**
4. アフリカ開発銀行における民間向け融資・投資
5. 再生可能エネルギーならびに省エネ分野

アフリカ開発銀行の(新)重点分野

2015年9月より新総裁アデシナ氏(ナイジェリア人)を迎え、次の10年に関する重点分野を絞む方向に動きつつある:

1. **エネルギー** Light up and Power Africa 電化率100%を目指す(グリッド、オフグリッド、太陽光、風力、水力、地熱など)
2. **農業・農業ビジネス** Feed Africa — 農業バリューチェーン、農業ビジネス向けファイナンス など
3. **地域統合化** Integrate Africa — 広域インフラ、貿易促進、金融システムなど
4. **工業化** Industrialize Africa — SEZ、重工業、製造業、中小企業振興など
5. **社会セクター** Improve the quality of life of Africans — 教育、保健・衛生、社会保障など

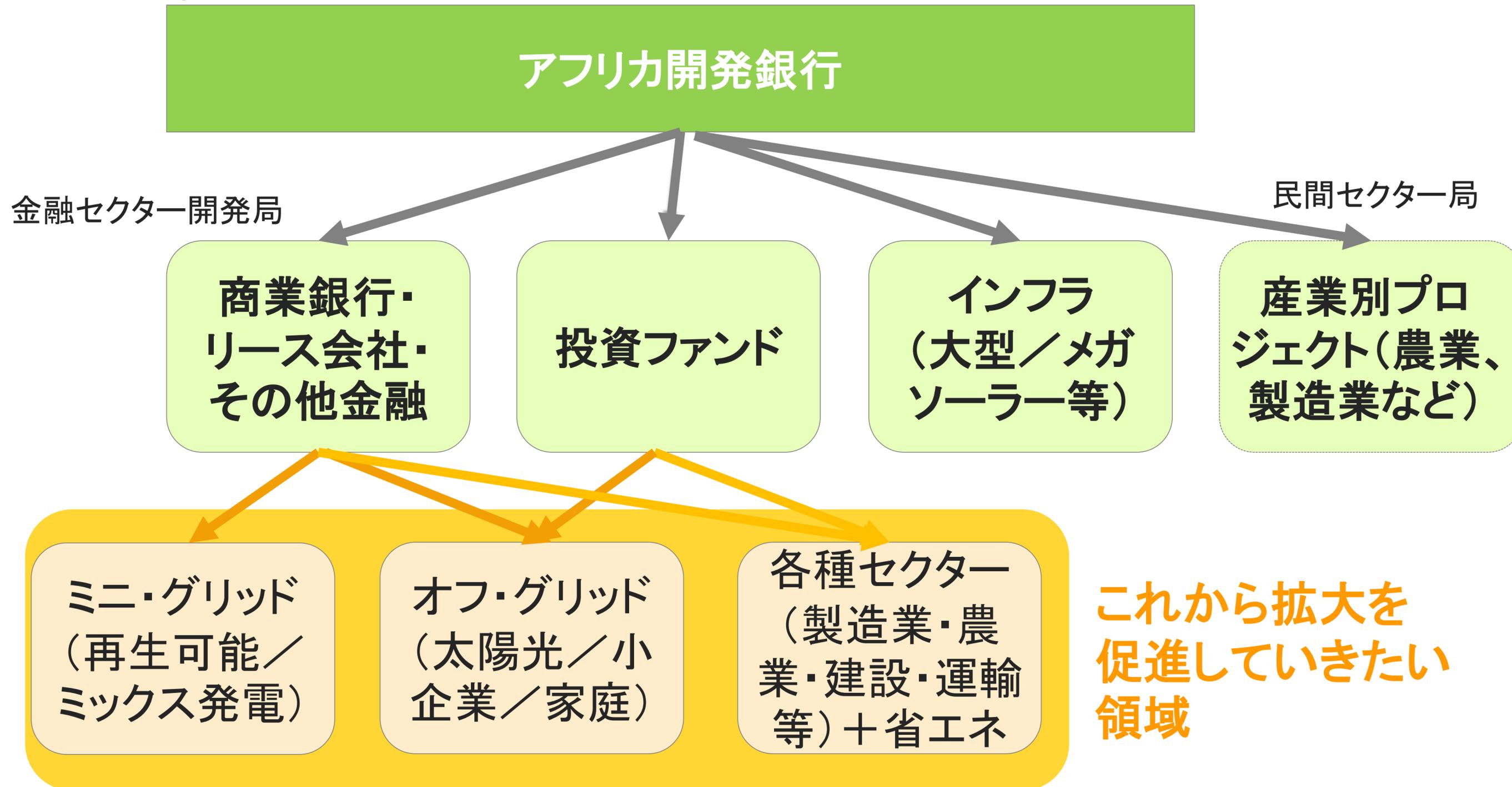
本日のアウトライン



1. アフリカ開発銀行の概要
2. アフリカの経済、投資、人口動向
3. アフリカ開発銀行の長期戦略と(新)重点分野
- 4. アフリカ開発銀行における民間向け融資・投資**
5. 再生可能エネルギーならびに省エネ分野

アフリカ開発銀行における民間向け融資・投資

金融機関やファンドを通じた融資・投資とともに、インフラプロジェクトへの直接投資を行っている。



本日のアウトライン



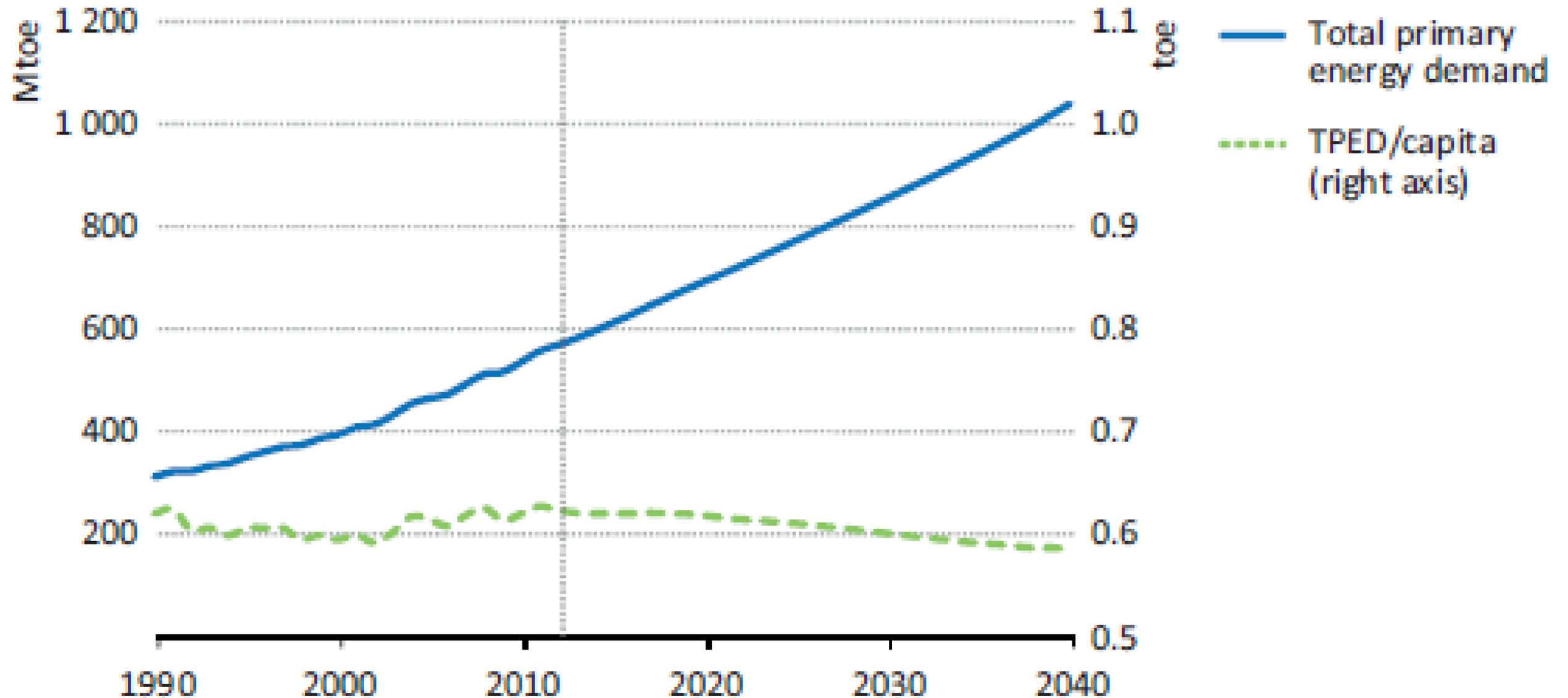
1. アフリカ開発銀行の概要
2. アフリカの経済、投資、人口動向
3. アフリカ開発銀行の長期戦略と(新)重点分野
4. アフリカ開発銀行における民間向け融資・投資
5. 再生可能エネルギーならびに省エネ分野

アフリカの電力需要予測



アフリカにおけるエネルギー需要は安定した増加が予測されている。

Figure 2.3 Total primary energy demand and demand per capita in sub-Saharan Africa in the New Policies Scenario

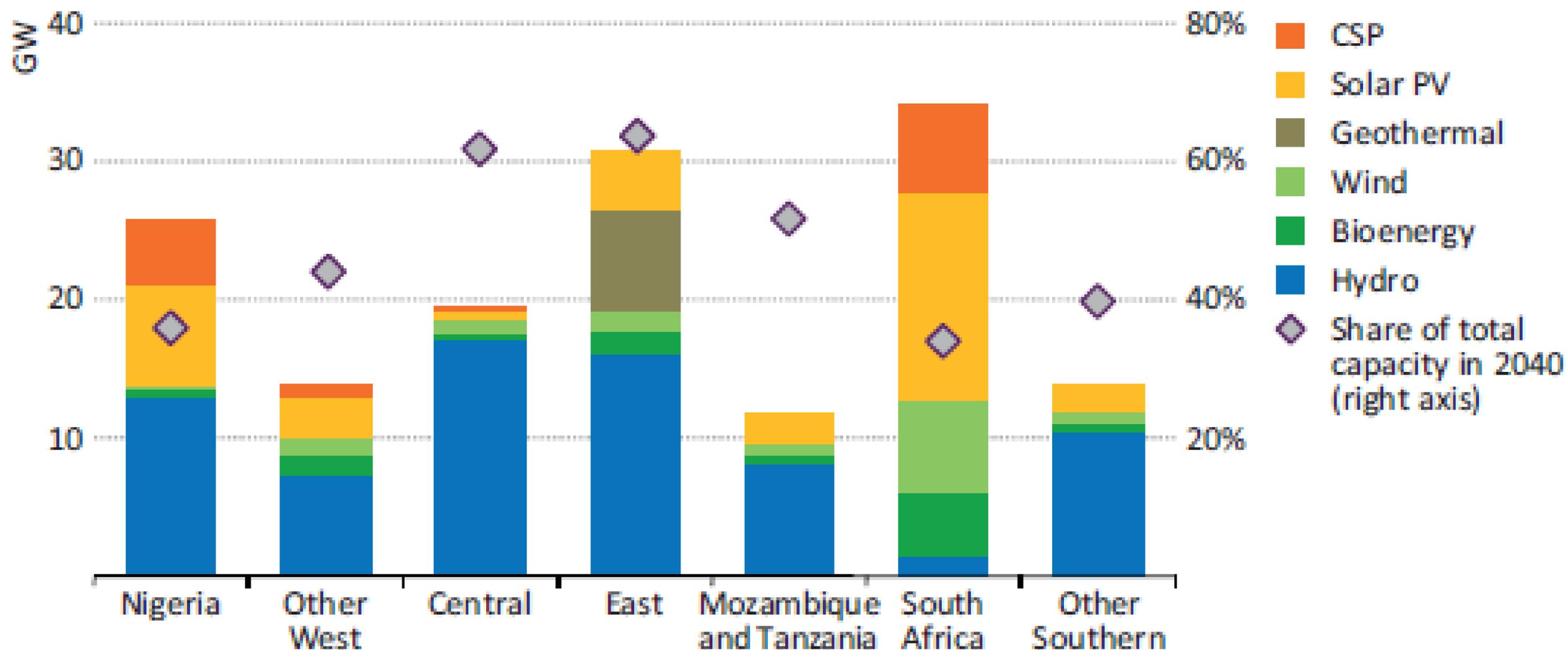


アフリカの再生可能エネルギー需要（1）



各国政府は今後増加するエネルギー需要に対応するため再生可能エネルギーの比率を高める方向性。

Figure 2.19 Increase in renewables-based capacity by sub-region and type in sub-Saharan Africa in the New Policies Scenario, 2012-2040



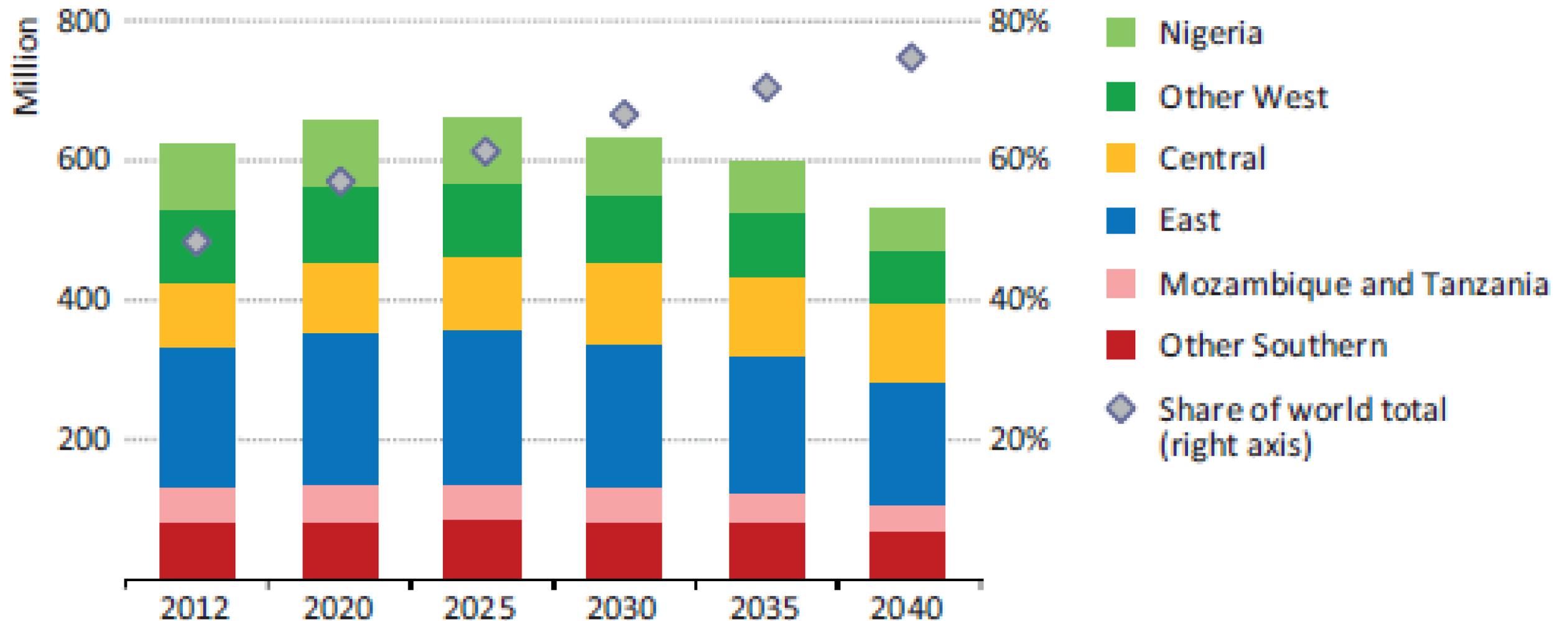
IAEA資料より抜粋

アフリカの再生可能エネルギー需要 (2)



各国政府が様々な政策を検討しているものの、通常のシナリオでは無電化人口は2025年まで増加、その後の減少スピードも緩慢に留まってしまいう可能性が高い。

Figure 3.1 ▶ Population without access to electricity by sub-region in sub-Saharan Africa in the New Policies Scenario

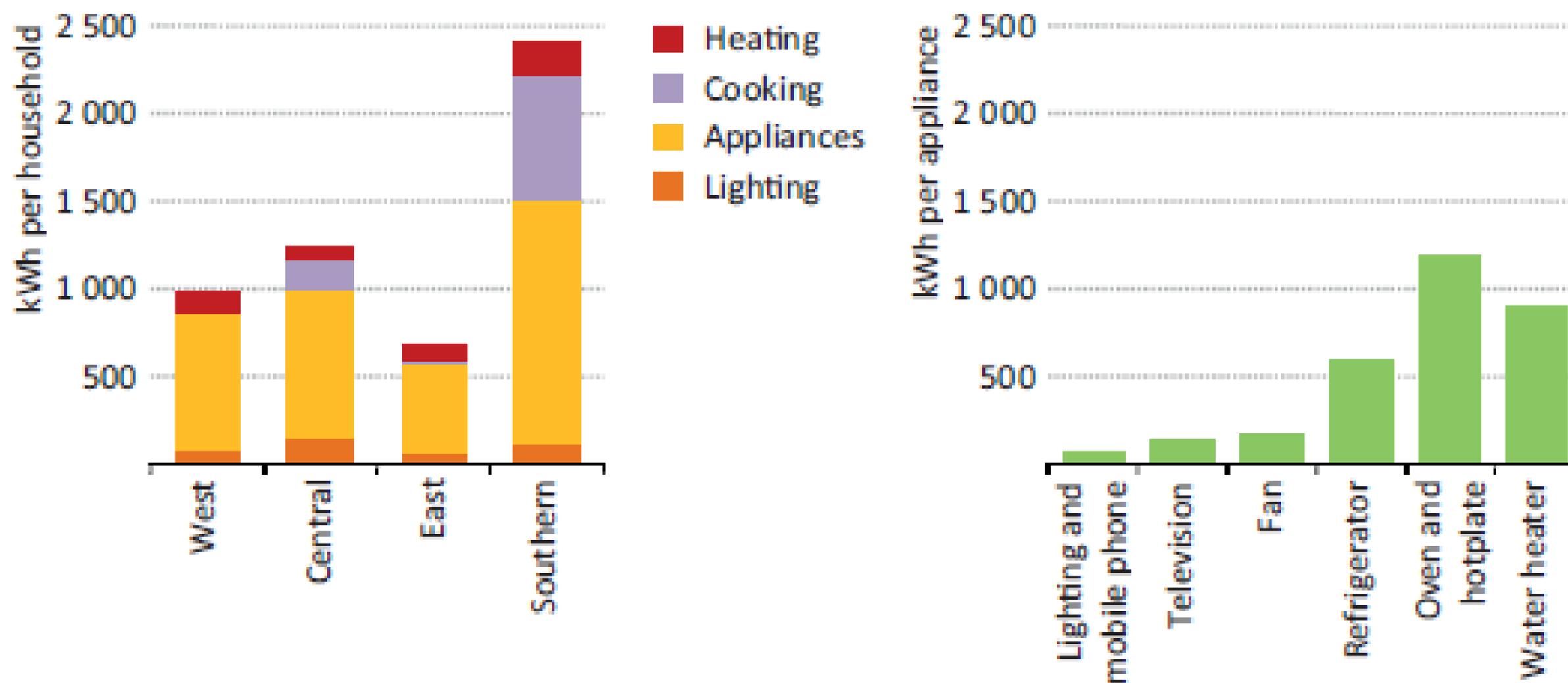


IAEA資料より抜粋

アフリカにおける家庭向けエネルギー消費

エネルギー供給を増加させるだけでなく、産業分野ならびに家庭における省エネも中・長期的に推進していく必要性がある。

Figure 1.7 ▶ Average electricity consumption per household in sub-Saharan Africa, 2012, and indicative consumption levels by appliance



アフリカ開発銀行の新しい試み

アフリカ開発銀行はこれから高まる再生可能エネルギー分野ならびに省エネ分野での投資促進に関して、新しいイニチアティブ「ニューディール」を立ち上げ
2025年までにアフリカ全体の電化率100%を達成するために共同投資を呼びかけている。

	From current energy situation in Africa		To Universal Access ¹ in 2025	
Population, <i>M</i>	1 174	x1.3	1 499	
GDP, \$ <i>bn</i>	2 175	x1.7	3 742	
Electrification rate, %	43%	x2.3	97%	
Households ² connected	87	x2.9	292	
Grid	83	x2.6	213	+130M new on-grid connections
Off-grid	4	x20	79	+75M new off-grid connections
Grid capacity, <i>GW</i>	170	x1.9	332	+160GW of new capacity
Consumption <i>kWh/capita</i>	613	x1.5	941	

アフリカ開発銀行の新しい試み

アフリカ開発銀行はこれから高まる再生可能エネルギー分野ならびに省エネ分野での投資促進に関して、具体策を検討中。

Aspiration 1: On grid generation

Aspiration 2: On grid connections

Aspiration 3: Off grid generation

Inspiration

Cost efficient power plants, such as :

- Gas (Takoradi – Ghana)
- Hydro (Kidatu - Tanzania)

National power utility company in Kenya

M-KOPA SOLAR

Off grid solar solution in East Africa

Achievement

200 MW

Nominal capacity for a typical plant

1,400,000

Urban household connections

250,000

Rural household connections

x ~800

=

x ~100

=

x ~300

=

Aspiration

~162 GW

To supply 130 Mn households and many industries

~130 Million

New grid connected households

~75 Million

New off-grid households



AFRICAN DEVELOPMENT
BANK GROUP

金融セクター開発局における検討事項



金融セクター開発局においても投資ファンドの設立や地元金融機関とのコラボレーションを検討中。

金融機関を通じた 再生可能エネルギー投資の推進

マーケット調査をケニア、ナイジェリア、カメルーン、南アを対象に実施し(3-5月)、投資・融資ファシリティの設立を検討する予定。

投資・融資ファシリティは再生可能エネルギーならびに省エネを対象とする方向。

投資ファンド(デット/エクイティ)を設立し 個別企業へ融資・投資

デット型の投資ファンド設立を検討中。再生可能エネルギーのみを対象にする方向。



AFRICAN DEVELOPMENT
BANK GROUP



ご清聴誠にありがとうございました

コンタクト先:

沼澤 和宏

k.numasawa@afdb.org

アフリカ開発銀行

金融セクター開発局 プリンシパル投資担当官